

平成26年度  
愛知県臨床検査精度管理調査報告会

一般検査部門  
精度管理調査報告会

名古屋大学 医学部附属病院 医療技術部  
臨床検査部門  
岩崎 卓識

# サーベイ項目と目標値

- ★ 尿定性検査：（試料41・42）  
サーベイ用に調整された凍結乾燥試料

尿試料	試料41	試料42
蛋白	(1+)	(2+)
糖	(1+)	(3+)
潜血	(1+)	(3+)

- ★ 便潜血検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）：（試料43・44）  
サーベイ用に調整された擬似便

便試料43	便試料44
(-)	(+)

- ★ フォトサーベイ  
10題（尿沈渣8題、脳脊髄液1題、寄生虫1題、  
写真13枚）

# 評価方法

## ★ 尿定性検査

目標値をA評価（正解）、  
目標値から上下1段階までをB評価（許容正解）、  
2段階以上外れたものをD評価（不正解）とした。

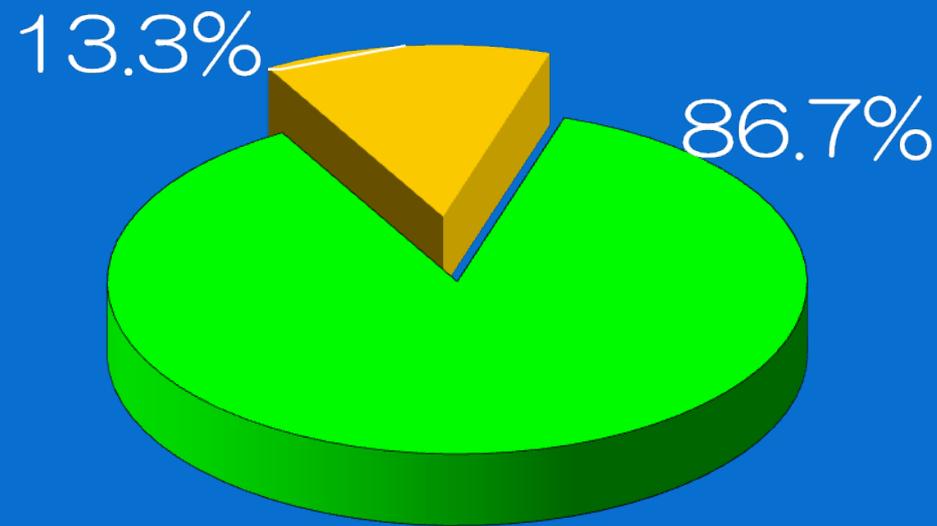
## ★ 便潜血検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）

目標値をA評価（正解）、  
目標値から外れたものをD評価（不正解）とした。

## ★ フォトサーベイ

正解をA評価、不正解をC評価とした。

# 尿定性検査判定方法 (n=113)



■ 目視判定 (15)    ■ 機器判定 (98)

近似選択法  
(切り捨て法の施設は無し)

( ) 内は施設数

# 尿定性検査（蛋白） (n=113)

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	6	5.3	B	±	0	0.0	
1+	107	94.7	A	1+	0	0.0	B
2+	0	0.0	B	2+	113	100.0	A
3+	0	0.0		3+	0	0.0	B
4+	0	0.0		4+	0	0.0	

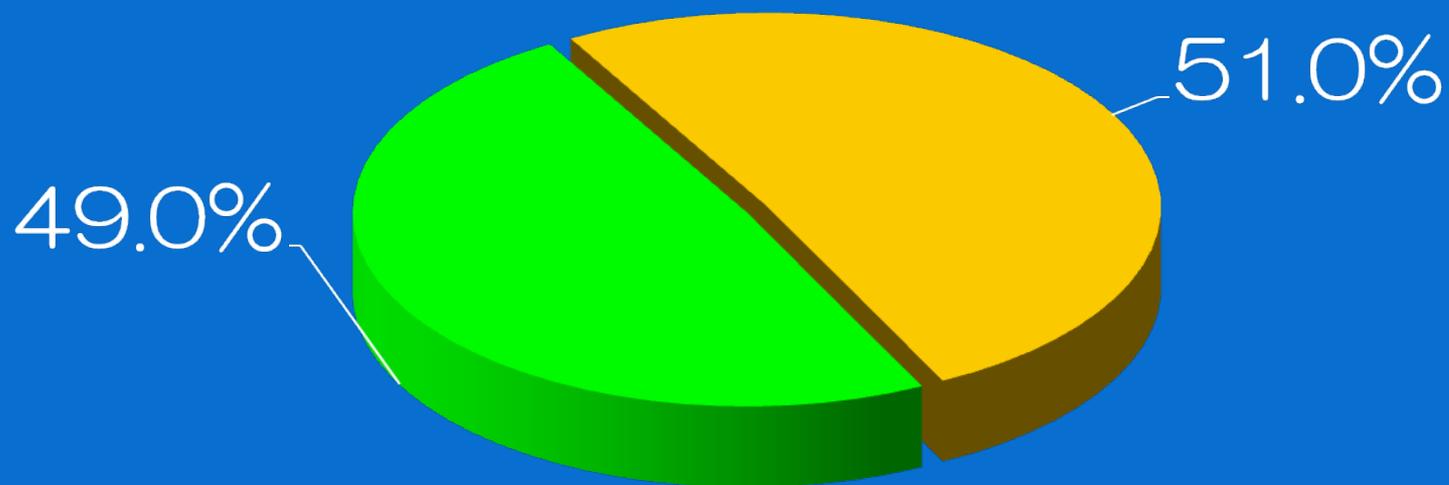
# 尿定性検査（糖） (n=113)

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	1	0.9	D	-	0	0.0	
±	4	3.5	B	±	0	0.0	
1+	105	92.9	A	1+	0	0.0	
2+	3	2.7	B	2+	5	4.4	B
3+	0	0.0		3+	102	90.3	A
4+	0	0.0		4+	6	5.3	B

# 尿定性検査（潜血）<sub>(n=113)</sub>

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	2	1.8	B	±	0	0.0	
1+	90	79.6	A	1+	0	0.0	
2+	21	18.6	B	2+	1	0.9	B
3+	0	0.0		3+	112	99.1	A
4+	0	0.0		4+	0	0.0	B

# 便潜血検査判定方法 (n=100)



■ 目視判定 (51)    ■ 機器判定 (49)

( ) 内は施設数

# 便潜血検査評価 (n=100)

定性結果	試料43		試料44	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
(-)	100	100.0	0	0.0
(+)	0	0.0	100	100.0
合計	100	100.0	100	100.0

# フォトサーベイ

設問		回答	件数	割合(%)	評価
設問1	1	A：非糸球体型赤血球 B：非糸球体型赤血球	1	0.9	C
	2	A：非糸球体型赤血球 B：糸球体型赤血球	103	97.3	A
	3	A：糸球体型赤血球 B：非糸球体型赤血球	1	0.9	C
	4	A：糸球体型赤血球 B：糸球体型赤血球	1	0.9	C
設問2	4	尿細管上皮細胞	106	100.0	A
設問3	2	尿路上皮細胞	100	94.3	A
	3	大食細胞	3	2.8	C
	4	尿細管上皮細胞	1	0.9	C
	5	異型細胞 (尿路上皮癌細胞疑い)	2	2.0	C

正解率の平均は98.7%

設問		回答	件数	割合(%)	評価
設問4	1	扁平上皮細胞	102	96.2	A
	2	尿路上皮細胞	2	2.0	C
	3	大食細胞	1	0.9	C
	4	尿細管上皮細胞	1	0.9	C
設問5	2	赤血球円柱	105	99.1	A
	4	脂肪円柱	1	0.9	C
設問6	4	リン酸アンモニウム・ マグネシウム結晶	106	100.0	A
設問7	5	尿酸アンモニウム結晶	106	100.0	A
設問8	3	大食細胞	1	0.9	C
	5	異型細胞 (尿路上皮癌細胞疑い)	105	99.1	A
設問9	5	単核球：多核球=5：1	101	100.0	A
設問10	3	無鉤条虫	102	99.0	A
	4	回虫卵	1	1.0	C

全体の平均正解率は98.5%

# 一般検査部門 精度管理調査まとめ

- ★ 今年度の精度管理調査参加施設は、尿定性検査113施設、便潜血検査100施設、フォトサーベイ106施設であった。昨年度と比べ、参加施設数はほぼ同等であった。
- ★ 尿定性検査は、昨年度に続きサーベイ用に調整されたメーカー製のコントロール尿を使用した。結果は、蛋白、糖、潜血いずれもほぼ100%であり、JCCLS尿検査標準化委員会の指針にほとんどの施設が準拠しており、概ね良好な結果が得られた。
- ★ 便潜血検査の定性結果は、目視判定、機器判定ともに100%と非常に良好であった。今後も正確な判定結果を得るため、採取する検体量・攪拌・機器メンテナンスなどに注意し業務にあたっていただきたい。
- ★ フォトサーベイについては、前年同様、平均正解率が98.5%と非常に良好な結果であった。来年度も「尿沈渣検査法2010」の分類基準に従い回答していただく予定である。